

子どもたちが慣れ親しむ ふるさとの川を守る

「私が子どもの頃、家の目の前を流れる緑川が一番の遊び場でした。川底まで見える清らかなこの川で川遊びをしたり魚釣りをしたりして楽しんでいましたね」と話すのは、甲佐町緑川流域美化推進協議

会会長の境国嗣さん(広瀬区)。同会は、町内のボランティア団体や町内小中学校PTA、町内事業者、町などが協力して緑川流域などの美化活動を広く町民に普及啓発することを目的に、地域一体となって

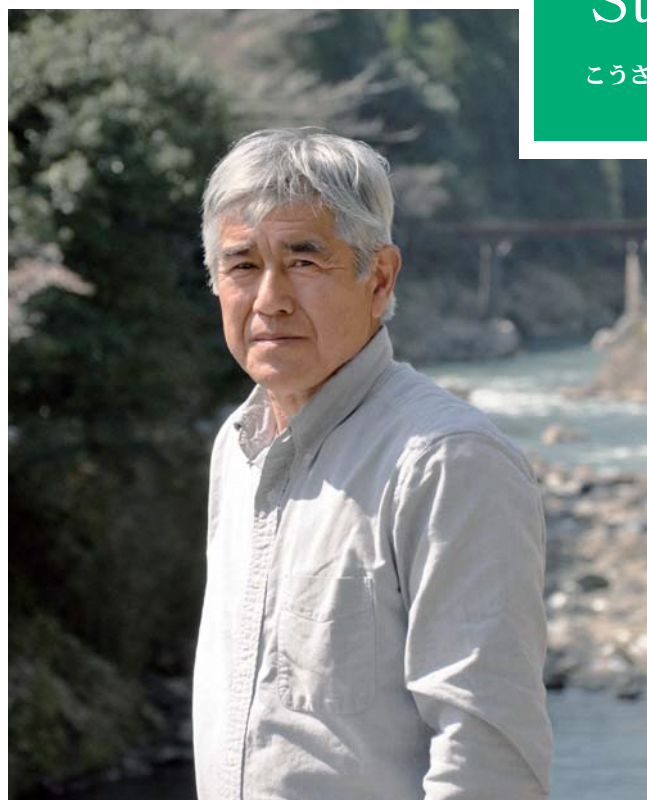
活動に取り組んでいる。平成6年から緑川流域で開催されている「緑川の日」の流域一斉清掃も毎年4月29日に実施しており、町内でも例年、事業所や町民など約2,000人が参加。ふるさとの川を守る活動が続いている。「毎年多くの皆さんにふるさと

の川を守る活動に参加していただいています。ここ数年、ごみの回収量も減少しており、地域の皆さんが緑川に愛着を持ってもらえるよう、今後も継続して取り組んでいきたいです」

川平キャンプ場から少し上流部に架かる木材搬出用のトロツコが走っていた鉄橋や日本の地質百選にも選定されている肥後変成帯の露頭など、知る人ぞ知る緑川流域の魅力を教えてくれた境さん。

「町内の全校区に接して流れる緑川は甲佐町を語る上で欠かすことのできない存在だと思います。古来から甲佐の住人とともにあるこの川は、町内の多くの田畑を潤し、育んできました。現在では、井戸江峡キャンプ場ややな場、中甲橋グリーンパーク、総合運動公園、津志田河川自然公園といった緑川を楽しむことができる場所も点在しており、週末には多くの家族連れなどでにぎわいます。今の子どもたちが私たちの子どもの頃と同じように慣れ親しむことができるふるさとの川を守って

いければ」と話す境さんは、甲佐の奥座敷から緑川の流れを見守り続ける。



境 国嗣さん
Sakai Kunitatsu

(広瀬区)

さかい くにつぐ / 甲佐町緑川流域美化活動推進協議会会長。「緑川の日」の流域一斉清掃を通して、ふるさとの清流を守る活動に取り組む。